

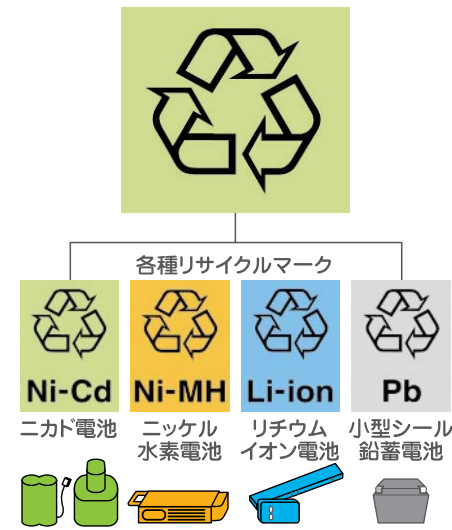
小形二次電池（充電式電池）の リサイクルについて

小形二次電池（充電式電池） リサイクル

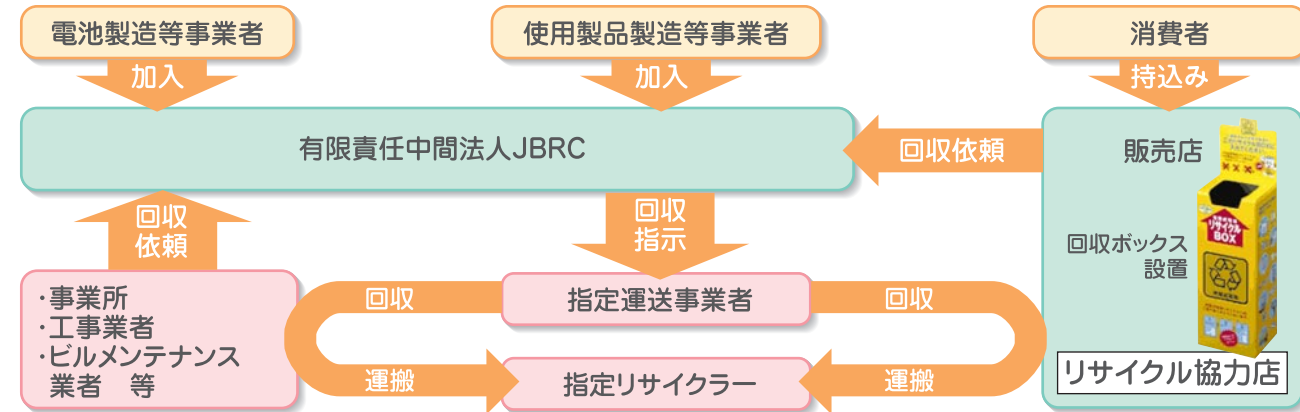
使用後は販売店の回収ボックスへ

二次電池とは、充電して何度も使える電池で、主に家庭用機器に使用されている小形二次電池（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン二次電池、小形シール鉛蓄電池）については、電池製造事業者、機器製造事業者等によってリサイクルが行われています。

小形二次電池は、どれもリサイクルマークがついていて、他の電池と見分けることができます。



小形二次電池（充電式電池）の回収・再資源化の仕組み



平成16年度回収・再資源化実績

	法定再資源化率	回収量	再資源化率
小形制御弁式鉛蓄電池	50%	10t (17t)	51% (51%)
ニカド電池	60%	975t (888t)	74% (74%)
ニッケル水素電池	55%	110t (94t)	77% (77%)
リチウム二次電池	30%	67t (54t)	61% (61%)

※()内は平成15年度実績

再利用製品



ニカド電池



ステンレス製品など



磁石など

有限責任中間法人JBRC

URL ▶ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

その他のリサイクルについて

携帯電話・PHS

携帯電話・PHSは、ユーザが販売店において買換えを行う場合や解約を行う場合に使用済み端末を引き取ります。この際、ユーザから使用済み端末の引取り依頼があった場合には、全ての通信事業者において、どの通信事業者の端末であるかにかかわらず引取りを行っています。

また、製品の設計段階においては、環境負荷を低減するための事前評価を行い、リサイクル等の促進に配慮した製品設計に取り組んでいます。



平成16年度実績「モバイル・リサイクル・ネットワーク」

区分	回収台数	回収重量	再資源化量	再資源化率
本体	8,528千台	677t	129t	19%
電池	7,312千台	159t	84t	53%
充電器	3,181千台	228t	52t	23%
回収店舗	約8,700店舗 (H17.3月時点)			

*この他、使用済みとなった後も廃棄されずに家庭で退蔵されているものも、相当数あると考えられる。

モバイル・リサイクル・ネットワーク

URL ▶ <http://www.mobile-recycle.net/>



●使用済携帯電話・PHSの無償回収を実施している店舗であることを示す統一ステッカー

海外でも家電リサイクルは行われているのですか？

ヨーロッパでは、EU（欧州連合）の廃電気電子機器リサイクル（WEEE）指令が、2003年2月に発効し、各EU加盟国においては、2005年8月からリサイクルを開始することになっています。

さらにヨーロッパでの動きを受けて、中国でも「廃棄家電回収処理管理条例」（中国版WEEE）を検討中です。

【EUにおけるWEEE指令の概要】

ほとんど全ての電気電子機器（98品目）が対象で、2006年12月31日までに、住民一人当たり最低4kgを分別回収します。また、製造業者が行う回収、リサイクルおよび適正処分に必要な費用は製品価格に含め、既販売品については新製品の販売時に徴収します。

